

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)

図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

警告

 禁止	取り付けできない天井・取り付けできない配線器具には無理に取り付けけない。 ●取り付けできない天井 ・凹凸のある天井(格子天井・船底天井・竿縁天井) ・傾斜した天井 ・取り付け部のまわりに凹凸や極端な突出部がある天井 ・簡単にたわむ天井 取り付けられた場合でも火災・感電・落下してけがの原因になります。 ●取り付けできない配線器具 ・電源端子が露出しているもの ・破損しているもの ・取り付けが不十分でグラグラするもの ・ケースウェイに取り付けてあるもの ・配線だけのもの ・出しろが22mm以上あるもの 火災・感電・落下してけがの原因になります。	
 禁止	電源は交流100V以外で使用しない。 火災・感電の原因になります。 本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。 室内専用なので、屋外では使用しない。 器具周囲温度5℃～35℃の範囲内で使用してください。 火災・感電の原因になります。 ストーブなど温度の高くなるものを本製品の近く・真下に置かない。 火災・故障の原因になります。	 指示 取り付けや取りはずし、お手入れをするときは、必ず電源を切る。 感電・けがの原因になります。 引掛シーリングは奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火・落下の原因になります。 調光機能のついた電源(壁スイッチなど)は使用することができないので、電気工事士資格取得者に交換工事を依頼する。 火災・故障の原因になります。 工事は販売店・工事店などに相談してください。 引掛シーリングの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま引掛シーリングを差し込むと、ショート・火災の原因になります。
 使用禁止	異常時(こげ臭い、発煙など)は電源を切り、使用しない。 火災・感電の原因になります。	 分解禁止 分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店またはドワンジャお客様相談室(裏表紙参照)にご相談ください。

警告

 ぬれ手禁止	ぬれた手で、取り付け作業や取りはずし作業をしない。 感電の原因になります。	 水ぬれ禁止	本体を水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。防水仕様にはなっていないため、浴室など湿気の多い場所や、常時温度が高い場所への設置はしない。 ショート・火災・感電の原因になります。
---	--	--	---

注意

 禁止	点灯中や消灯直後は熱くなっているため器具に触れない。 やけどの原因になることがあります。	 禁止	お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。
	本製品の一部分が破損した場合そのまま使用を続けない。また破損した部分に直接触れたりしない。 けが・やけど、落下の原因になることがあります。		リモコンの電池を交換するとき、新旧の乾電池を混ぜて使用しない。 故障の原因になります。
	ものをぶつけたり、衝撃をあてない。 本製品の落下による、けが・やけどの原因になります。		付属の取付金具とリモコンは本製品専用のため他製品に使用しない。 故障の原因になります。
	LED光源を直視しない。 目に悪影響を及ぼす原因になります。		ガードにハンガー等のものを掛けない。 火災・故障の原因となります。
	ラジオやテレビなどの音響機器・映像機器を近くで使用しない。 雑音の原因になることがあります。使用する場合はできるだけ離して使用するようにしてください。		ワイヤーはフックを確実に取り付ける。 落下してけがの原因になります。
	風をからだに、長い時間続けてあてない。 健康を害することがあります。		天井の材質によっては、変色・変形することがあるので十分注意する。 光を発し、熱を持つ機器のため、変色・変形の原因になります。
 指示	回転中、ファンの中に指などを入れない。 けがの原因になります。		設置して長期間使用すると、外部に異常がなくても内部の劣化は進行するので、点検する。 点検せずに使用を続けると、火災、落下による感電、けがの原因になります。
	髪をガードに近づけすぎない。 髪が巻き込まれ、けがをする恐れがあります。		リモコンでスイッチを切ると、常時待機電力がかかっているため、長時間点灯しない場合は、電源（壁スイッチなど）を切る。 節電になります。
	次のようなところでは使わない。 ●レンジなど炎の近く ●引火性のガスがあるところ ●雨や水しぶきがかかるところ 変色・変形・炎の立ち消え・火災・感電の原因になることがあります。		被照射物との距離は1m以上あける。 色あせ、変色の原因になります。

乾電池に関する安全上の注意

■電池の使い方を誤ると、電池が液漏れ、発熱、破裂したり、けがや機器故障の原因となるので、次のことを必ず守ってください。

警告

- 電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。万一、電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- 電池のアルカリ液が目に入ったときは失明など障害のおそれがありますので、すぐに多量のきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けてください。
- 電池を火に入れたり、加熱、分解、改造などしないでください。
- 電池の(+) (-)を逆にして使用しないでください。
- 電池のアルカリ液が皮膚や衣服に付着した場合には、すぐに多量のきれいな水で洗い流してください。
- 電池の(+) (-)を針金などで接続したり、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保存しないでください。
- 付属の電池は充電式に造られていません。充電すると液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。
- 使い切った電池はすぐ機器から取り出してください。
- 長期間機器を使用しない場合には、機器から電池を取り出してください。電池を入れたままにしておくと液漏れがあり危険です。

注意

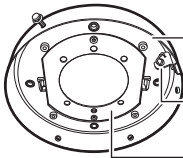
- 電池を落下させたり、投げつけたりして強い衝撃を与えないでください。
- 電池の外装ラベルをはがしたり、傷つけないでください。
- 新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- ニッケル系乾電池（オキシライド乾電池など）は絶対に使用しないでください。
- 充電式（ニカド・ニッケル水素など）電池を使用しますと、機器が持っている性能を発揮できないことがあります。（機器が誤作動するなど）
- 電池の消耗により正常に作動しない場合があります。その際は新しい電池と交換してください。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使用してください。

各部の名称とはたらき



(配線器具)
※付属していません

カバー
取付部

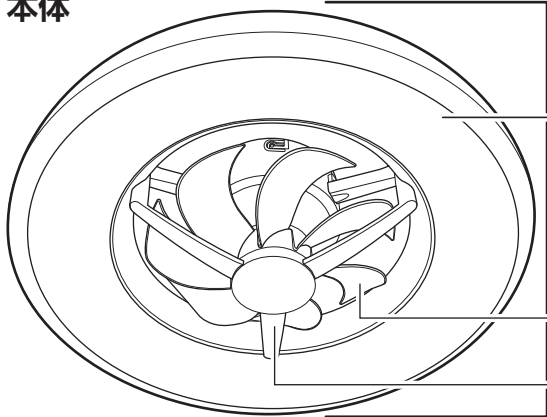


取付金具

フック

補完板

本体



カバー

本体

ファン

ガード



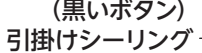
注意

本機はカバーやファンを取り
はずすことはできません。

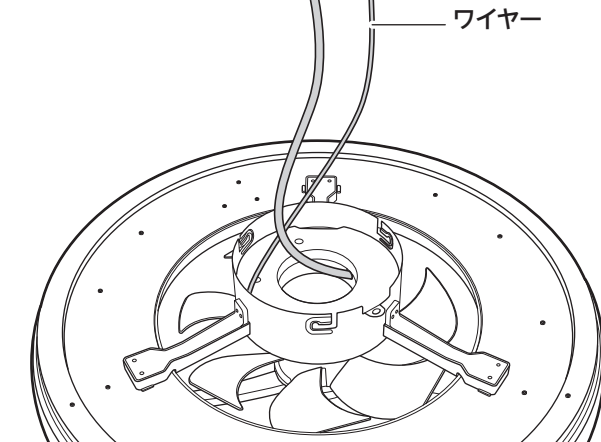
リモコン受信部
常夜灯ランプ

※カバー内にあります。

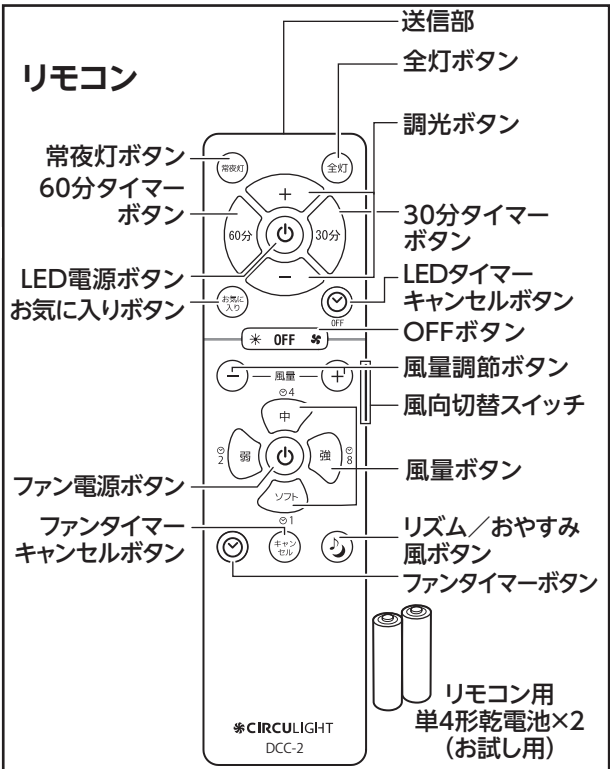
リリースボタン
(黒いボタン)
引掛けシーリング



ワイヤー



リモコン



梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

本体 1個
取付金具 (本体に取付済) 1個
固定ネジ (本体に取付済) 1個
配線器具固定ネジ、ワッシャー、
スプリングワッシャー 各2個
ワッシャー (木ネジ用) 4個
取付金具固定木ネジ (長) 4個

補完板 (取付金具に取付済) 1個
補完板取付ネジ (取付金具に取付済) 2個
リモコン 1個
リモコン用単4形乾電池 (お試用) 2本
リモコン取付ネジ 1個
免震パッド 4個

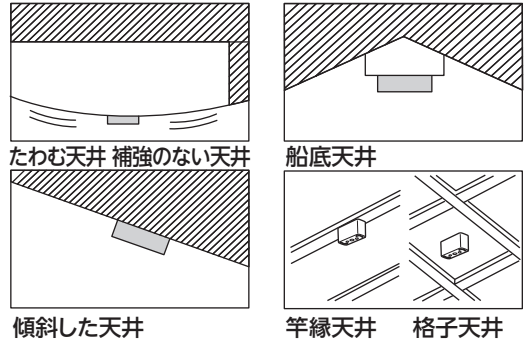
取り付けかた

取り付け前の確認事項

1. 取り付ける天井の状態を確認する

- ・右図[取り付けることのできない天井]のような天井になっていないことを確認してください。

[取り付けることのできない天井]



⚠ 注意	お客様ご自身で取り付けする場合は、重量物のため2人以上で作業することを推奨します。
------	---

2. 取り付ける天井についている配線器具を確認する

配線器具が以下のようなものである場合は取り付けできません。

- ・取り付けできない配線器具
 - ・電源端子が露出しているもの
 - ・破損しているもの
 - ・取り付けが不十分でグラグラするもの
 - ・ケースウェイに取り付けてあるもの
 - ・配線だけのもの

[取り付けできない配線器具] × 取り付けられない

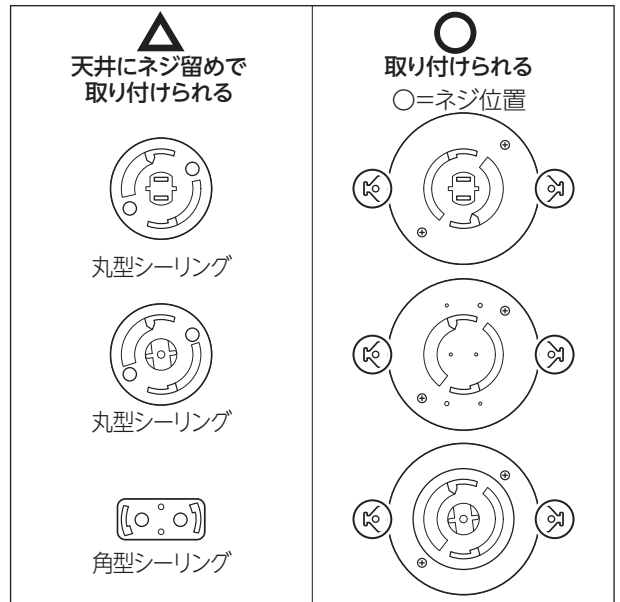


取り付けられている配線器具が右図[取り付けることのできる配線器具]にあるか確認してください。

- ・天井に右図[取り付けることのできる配線器具] ○取り付けられるような配線器具が設置されていれば、取り付けことができます。
- ・×取り付けられない場合は、使用できません。販売店・工事店にご相談ください。
- ・△天井にネジ留めで取り付けられる場合は、天井に直接固定させるため、天井が補強されている必要があります(天井裏側に「はり」などがある状態)。

配線器具が設置されていない場合や、取り付けできない配線器具でも交換により取り付けできる場合がありますので、販売店・工事店にご相談ください。

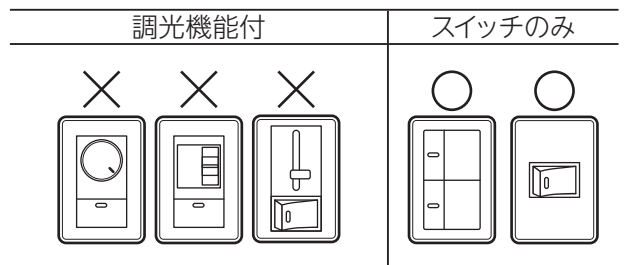
[取り付けることのできる配線器具]



3. 取り付ける電源(壁スイッチなど)に調光機能がないことを確認する

調光機能のついた電源(壁スイッチなど)の場合、使用できません。販売店・工事店にご相談ください。

※右のイラストのようなスイッチ以外でも、調光機能の付いたスイッチは使用できません。



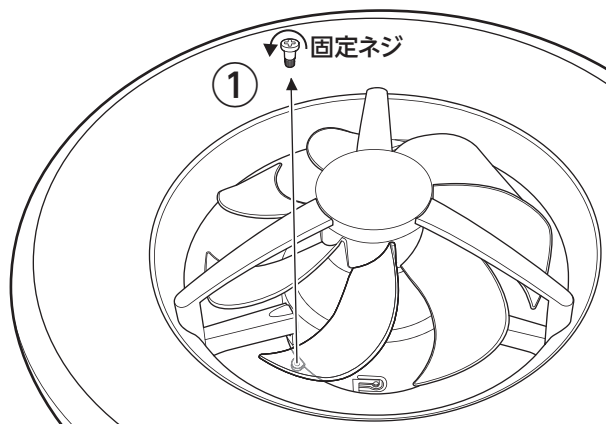
取り付けかた (つづき)

本体取り付けの準備

1. 取り付けられている取付金具の固定ネジをはずし、取付金具を取りはずす①

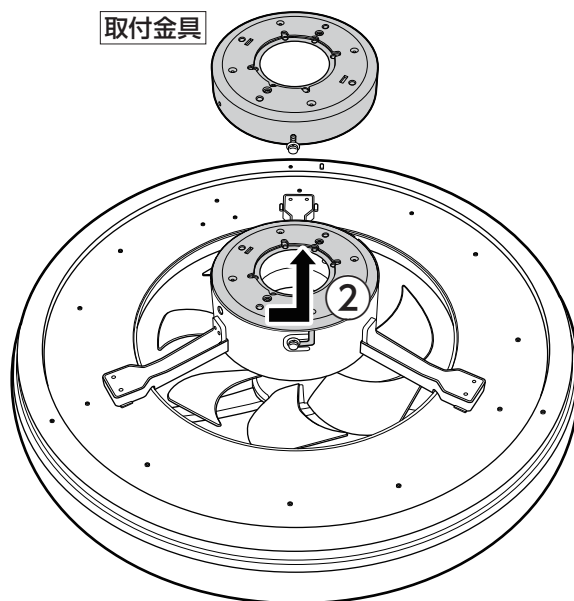
取り付けられている1本の固定ネジをはずして、取付金具を取りはずします。ネジはファンのある面から適切な大きさのドライバーを入れて取りはずしてください。

※取りはずしたネジは最後に固定するために使用するので、紛失しないようにしてください。



2. 取付金具を左回し (反時計回り) にしてから引き出して取りはずす②

取付金具



取付金具の取り付けかた

○取り付けられる配線器具の場合

1. 配線器具に取付金具を当てて、ネジ穴を確認する

配線器具に取付金具を当てて、ネジ穴を確認します。

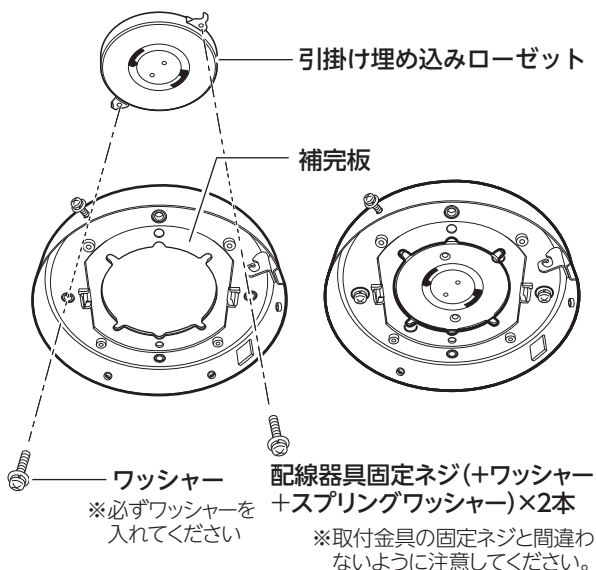
- 2つのネジを取り付けられるようになっています。
- 配線器具の両脇にある耳のネジ穴を使用します。

2. 配線器具に取付金具を付属の配線器具固定ネジ2本を使って取り付ける

配線器具の横に出た取付金具を当てて、ネジ穴を確認します。

配線器具への取り付け

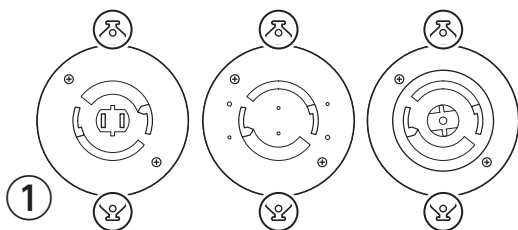
付属の配線器具固定ネジ2本で取り付けます



注意

- 配線器具固定ネジは2本とも、最後まで密着するまで締め付ける。
- 角型シーリング以外 (引掛け埋め込みローゼット) 右図補完板を必ず必ずしてください。

ファン回転時の振動防止免震パッドの貼り付け

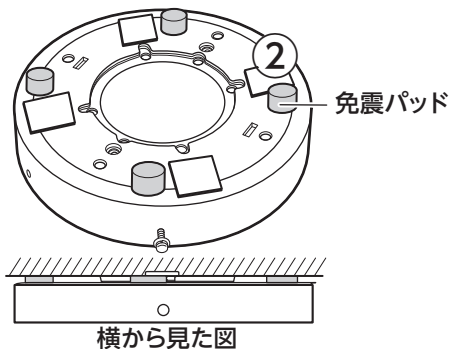


①の引掛シーリング2点ネジ止め取り付けで 사용되는場合、取り付け状態によっては、一部の回転数でファン回転による本体の振動が発生することがあります。

そのような場合、②のように付属の免震パッドを円周に貼り付けると振動が軽減されます。

取付金具に4箇所免震パッドを貼り付けたあと、引掛シーリングに取り付けてください。

斜め上から見た図



取り付けかた (つづき)

△天井にネジ留めで取り付けられる配線器具の場合

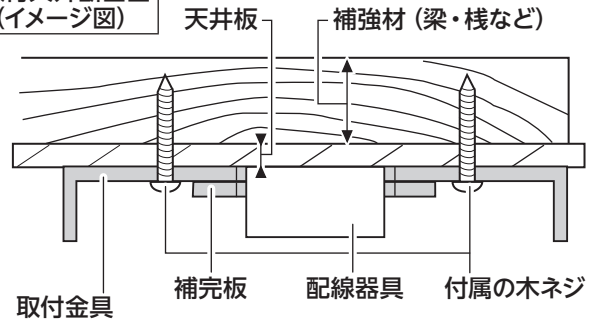
1. 配線器具の周辺は丈夫であるか、木ネジ使用できるか確認する

配線器具の周辺に本体 (約2.5kg) を維持できる補強材があるか確認してください (右図参照)。

- ・配線器具の出しろが22mm以上ある場合、本体側が取り付けられない場合があります。そのときは、販売店・工事店にご相談ください。

※配線器具の周辺に本体 (約2.5kg) を維持できる補強材があるか確認してください

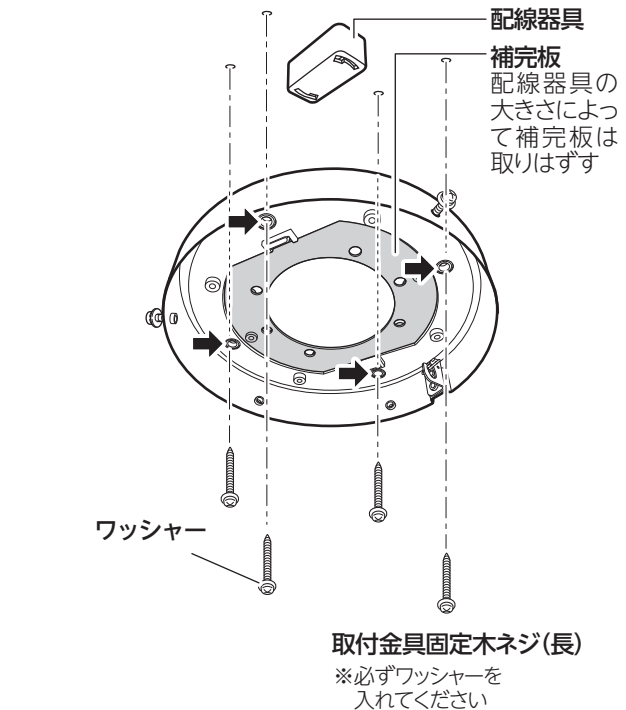
取付天井断面図 (イメージ図)



2. 配線器具を中心にして、取付金具を付属の木ネジ4本を使って取り付ける

配線器具を取付金具の中心の穴に通し、付属の木ネジ (または天井板素材に合ったネジ) を使って天井に取り付けてください。

- ・配線器具の大きさによって補完板ははずしてください。
- ・角型シーリング以外は、補完板を必ずはずしてください。
- ・木ネジ (または天井板素材に合ったネジ) は必ず取付金具上の4つの穴を通してください。



注意	・ネジは4本とも、最後まで密着するまで締め付ける。 ・ネジは必ず右図指定 (➡) の4つの穴を使用する。
-----------	---

本体の取り付けかた



お客様ご自身で取り付けする場合は、重量物のため2人以上で作業することを推奨します。

1. 電源 (壁スイッチなど) を切にする

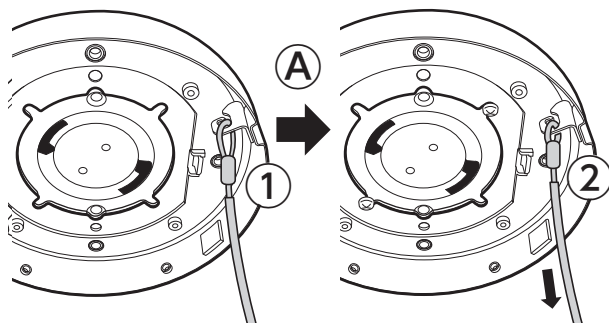


取り付けをするときや、お手入れをするときは必ず電源を切にする。
感電・やけどの原因になります。

2. 天井の取付金具のフックに本体のワイヤーを取り付ける①

- ① フックにワイヤーの先にある輪を入れます。
- ② ワイヤーを引っ張って、フックから抜けにくい状態にしてください。

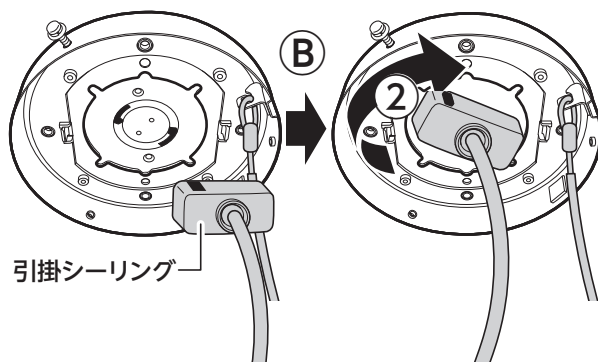
ワイヤーの先にある輪が小さくなり、ワイヤーがフックから抜けにくくなります。



ワイヤーを取り付けて下に引っ張ると、ワイヤーの先の輪が小さくなって、フックから抜けにくくなります

3. 配線器具に引掛シーリングを取り付ける②

- ① 配線器具へ本体から出ている引掛シーリングの2本の引っ掛け刃を挿し込みます。
- ② 「カチッ」という音がするまで右に回します。ロックされてはずれなくなります。
 - やりなおす場合、リリースボタン (黒いボタン) を押すとロックが解除され、はずれるようになります。



リリースボタン (黒いボタン) を押さないで回してみて、はずれないことを確認する。

取り付けかた (つづき)

4. 天井の取付金具に本体を取り付ける㉔



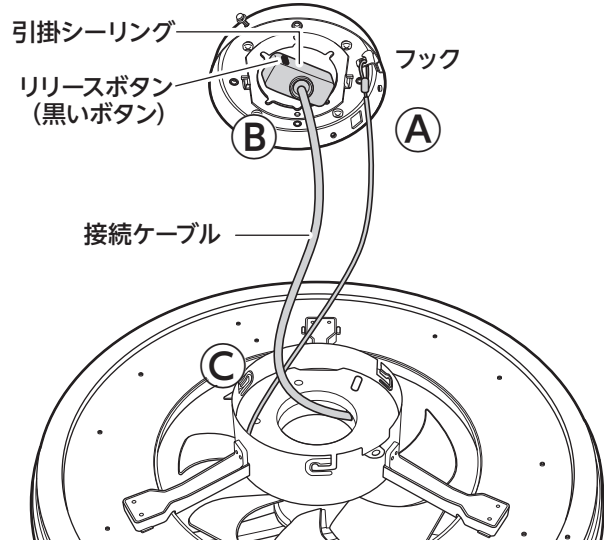
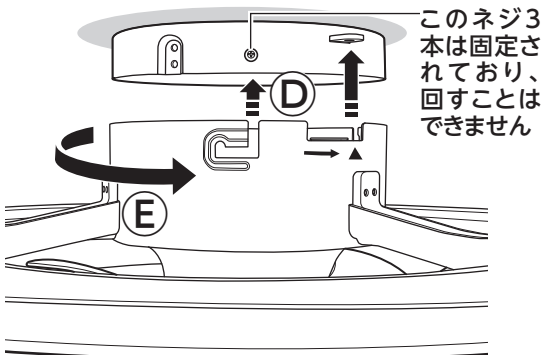
警告

本体取り付け時に、接続ケーブルやワイヤーを間にはさまないようにする。
感電・火災の原因になります。

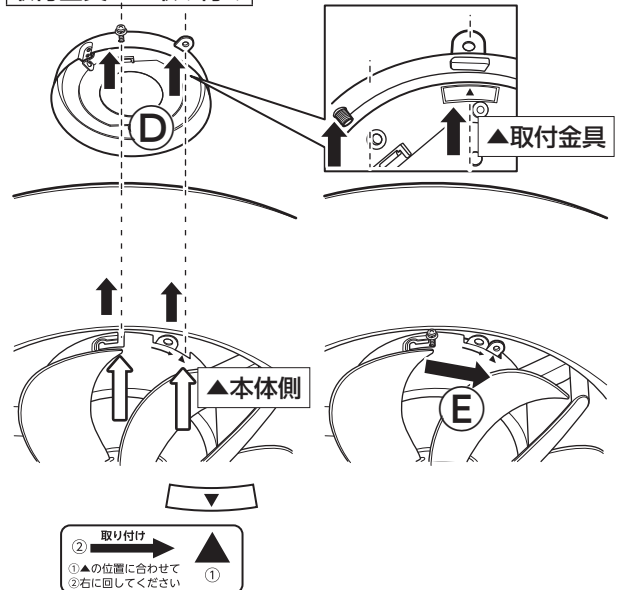
取付金具の突起と本体の凹み部分、「本体取り付けの準備」(6ページ)ではずした固定ネジの場所が合うように取り付けます。

1. 取付金具に、本体を差し込み㉕、右(時計)方向最後まで回します㉖

- 接続ケーブルを本体中心部におさめるようにし、ワイヤーもフックからはずれないように本体中心部におさめるようにしてください。
- 取付金具内部にある▲と本体側にある▲を組み合わせるようにして取り付け、右方向に回してください。
- 取付金具外側にあるネジ穴と、本体側にあるネジ穴が一致してネジが取り付けられるようになります。



取付金具への取り付け



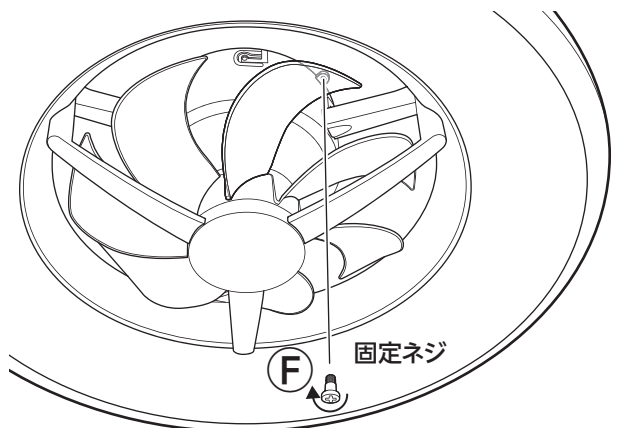
2. 「本体取り付けの準備」(6ページ)ではずしておいた固定ネジを、ファン側から取り付けます㉗。

- 表側からネジ穴を探してネジを取り付けてください。

③ 確実に取り付けられたか確認してください。

- 本体が回転しない
- 本体がガタガタ・グラグラしない

異常が認められましたら一度取りはずして、取り付け直してください。



リモコンの準備

下記の手順で付属の電池（単4形乾電池）を入れてください。

1. リモコン裏の電池ぶたを開く

電池ぶたの「OPEN」部分を押しながら手前の方へスライドさせて開きます。

2. ⊕と⊖の向きに注意して、電池を入れる

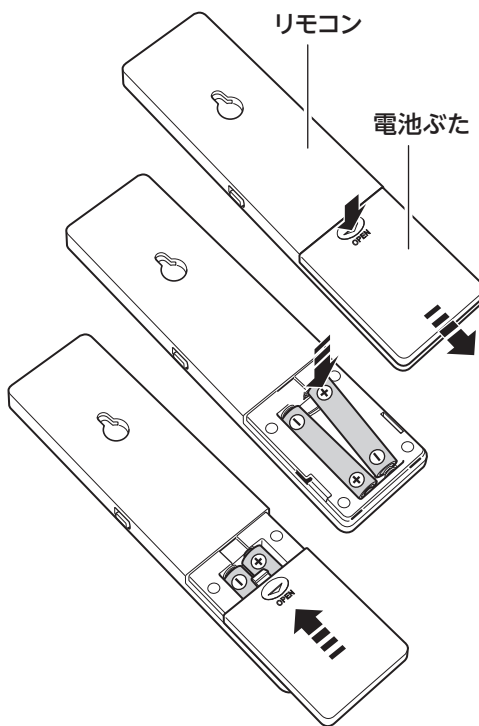
電池ぶたをはずして、電池を入れてください。

3. 電池ぶたを閉める

電池ぶたを右図の矢印の方向へスライドさせて閉めます。カチッと音がするまで押し込んでください。

- ・リモコンと本体の受信部の間に障害物がある場合は、リモコンが正常に動作しないことがあります。

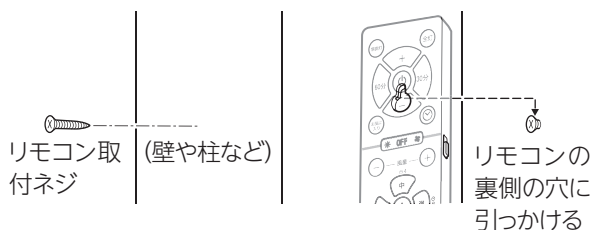
※3ページの乾電池に関する安全上の注意を確認してください。



リモコンの取り付けかた

リモコンは、付属のリモコン取付ネジ（1本）を壁などに取り付けておき、裏側にあるネジ穴を使用して引っかけておくことができます。

- ・リモコン取付ネジは、リモコンに悪影響を与えるような場所（直射日光が当たる、エアコンなどの熱風が当たる場所など）を避けて、取り付けてください。
- ・リモコンを壁に取り付けた状態で操作したい場合は、十分リモコンの信号が本体に届いて反応することを確認してから、リモコン取付ネジを取り付けるようにしてください。

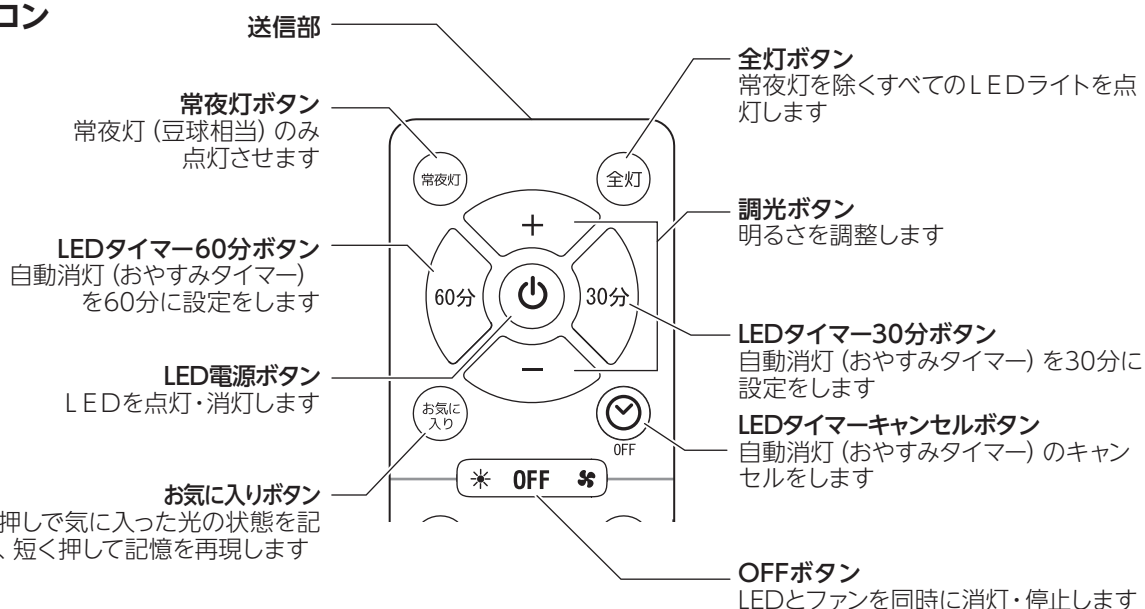


⚠注意

- ・長期間リモコンを使わないときは電池を取りはずす。
- ・⊕⊖を正しく入れる。
- ・種類の異なる電池や新旧の電池を混ぜて使用しない。
- ・電池の充電・ショート・分解・火への投下・加熱などはしない。
- ・万一、液もれが起こったときは、よくふき取ってから新しい電池を入れる。

正しい使いかた《LED》

リモコン



LEDの点灯・消灯

1. 電源 (壁スイッチなど) を入れてからリモコンの $\odot$ 全灯ボタンを押す

正常に接続されていると、調光100%で点灯します。

・点灯しない場合、接続に問題があることがあります。電源 (壁スイッチなど) を切って、以下の点を確認してください。

- ・配線器具と引掛シーリングの接続
- ・引掛シーリングと配線器具との接続を目視で確認

上記接続に問題がないことを確認してから電源 (壁スイッチなど) を入れてください。

2. LEDの明るさを変更するときは、 $\oplus/\ominus$ 調光ボタンを押す

それ以上ボタンを押しても変化しないときは「ピー」 (操作無効) と音が鳴ります。

3. 常夜灯を点灯するときは、 $\odot$ 常夜灯ボタンを押す

$\odot$ 常夜灯ボタンを押すと、全体のLEDが消灯し、常夜灯が点灯します。

$\odot$ 全灯	全灯ボタン	本機で通常使用されるLEDすべてが点灯します (常夜灯は除く)
$\odot$ 常夜灯	常夜灯ボタン	常夜灯 (豆球相当) のみ点灯します
$\odot$	LED電源ボタン	LEDを点灯・消灯します
$\odot$ 60分	LEDタイマー60分ボタン	押すと約60分後に消灯します
$\odot$ 30分	LEDタイマー30分ボタン	押すと約30分後に消灯します
$\oplus/\ominus$	調光ボタン	$\oplus$ を押すことで、光が強くなり、 $\ominus$ を押すことで光が弱くなります
$\odot$ お気に入り	お気に入りボタン	気に入った光の状態を $\odot$ お気に入りボタンを長押しすることで、記憶させておくことができます
$\odot$ OFF	LEDタイマーキャンセルボタン	押すことでおやすみタイマーをキャンセル (取消) することができます

※本機にはチャンネル設定の機能はありません

4. おやすみタイマーを設定する

点灯時、LEDタイマー60分ボタンを押すと、約60分後に自動で消灯します。LEDタイマー30分ボタンを押すと、約30分後に自動で消灯します。タイマーを解除するときは、LEDタイマーキャンセルボタン押してください。

※ LED解除されたとき、タイマー設定時よりも長く音が鳴ります。

おやすみタイマーの音

音のイメージ	ピッ ・	ピピッ ・・	ピー ー
タイマー時間	30分	60分	解除

5. リモコンで消灯／点灯するときは、
LED電源ボタンを押す

LED電源ボタンを押すと、ファンに関係なくLEDのみ消灯／点灯をすることができます。

6. リモコンのOFFボタンまたは壁スイッチで消灯する

OFFボタンを押すと、壁スイッチで電源を切ったときのように、LEDとファンが同時に停止します。

- どちらかのみ電源を切る場合は、LED電源ボタンまたはファン電源ボタンを押して電源を切ります。

お気に入り

お気に入りボタンの使用

お気に入りの光の強さに設定し、お気に入りボタンを長押し（約3秒）すると、ピピピッと音が鳴り、お気に入りとして記憶されます。

LED点灯時（常夜灯点灯時以外）、お気に入りボタンを押すと、記憶された明るさになります。

壁スイッチメモリー

壁スイッチで入・切する場合、壁スイッチで切った最後の状態で点灯します。

リモコンメモリー

電源ボタンで切（OFF）にした最後の状態で点灯します。（常夜灯はメモリーされません）

警告

使用後は必ず消灯し、長時間使用しない場合は、電源を切る。

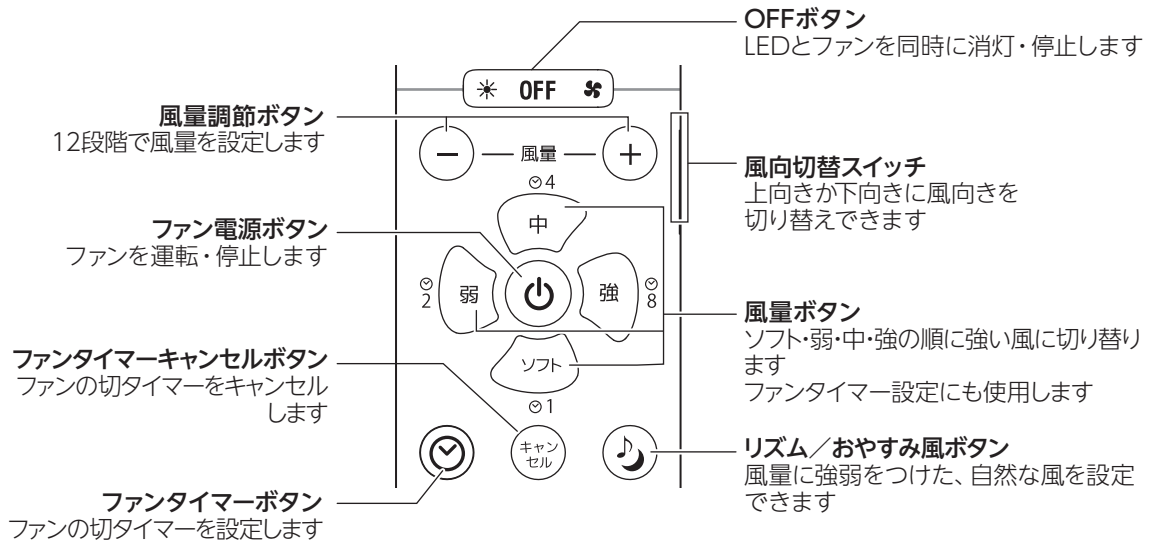
注意

リモコンが近くの他の機器を操作してしまう場合は、別の機器のチャンネルを変更するか、離れた場所に移動させる。

本機にはリモコンのチャンネル設定の機能がありませんので、他の機器がチャンネル設定があれば変更させて対応してください。

正しい使いかた《ファン》

リモコン



運転を開始／停止する

1. 運転を開始する

リモコンの④ファン電源ボタンを押すと、ファンの運転を開始します。

- 通常の使用時にはメモリー機能により、前回停止時の風量で運転を開始します。
- 最初に本体またはリモコンの④ファン電源ボタンを押したときには、弱い風量のソフト運転を開始します。
- ファンはリモコンでのみ運転を開始させることができます。壁スイッチで電源を切った場合、次に電源を入れた時にファンが運転を開始することはありません。

風向切替スイッチによる風向きの変更(上向き／下向き)については16ページ参照。

2. 風量を調節する

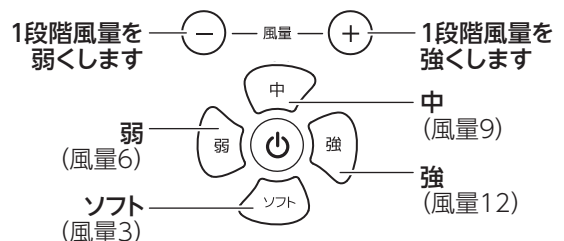
リモコンにある4つの風量ボタンを押して風量を調節してください。

- ソフト・弱・中・強の順に強い風になります。

⊕⊖風量調節ボタンを使用することにより、4つの風量ボタンよりも細かく(12段階)風量を設定することができます。

それ以上ボタンを押しても変化しないときは「ピピッ」(操作無効)と音が鳴ります。

風量の設定



3. 切タイマーを設定する

運転中に、Ⓜファンタイマーボタンを押し、3秒以内に風量ボタンを押すことで切タイマー時間が設定されます（ソフト：約1時間、弱：約2時間、中：約4時間、強：約8時間）。

Ⓜファンタイマーボタンと風量ボタンを押した時点で、設定された時間に対応した音が鳴り、設定されたことがわかります。

切タイマー設定

音のイメージ	ピーピッ ・	ピーピー ピッ ・・	ピーピー ピッ ・・・	ピーピー ピッ ・・・・
切タイマー	約1時間	約2時間	約4時間	約8時間

- ・切タイマーをキャンセルするときは、Ⓚキャンセルボタンを押してください。ピーと音が鳴り、設定がキャンセルされたことがわかります。

4. リズム／おやすみ風機能を作動させる

運転中にリモコンの④リズム／おやすみ風ボタンを押すと機能が切り替わります。

④リズム／おやすみ風ボタンを1回押すと、リズム風になり、2回押すとおやすみ風になります。もう1度押すと、普通の風に戻ります。

リズム／おやすみ風設定

音のイメージ	ピッ ・	ピーピッ ・・	ピー ー
リズム／おやすみ風	リズム風	おやすみ風	解除

5. 運転を停止する

運転中にリモコンのⓁファン電源ボタンを押すと、運転を停止します。

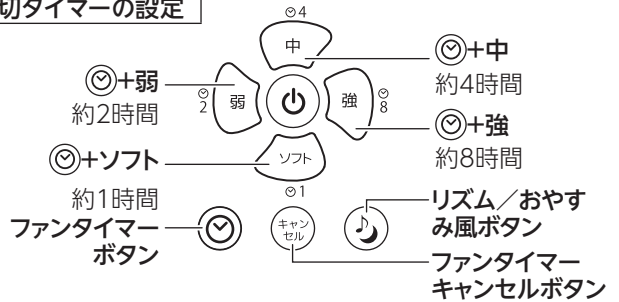
6. リモコンのⓂOFFボタンまたは壁スイッチで消灯・運転停止させる

ⓂOFFボタンを押すと、壁スイッチで電源を切った時のように、LEDとファンが同時に停止します。

切り忘れ防止機能

最後にリモコンを操作してから約12時間経過すると、ファンの運転が自動的に停止します。

切タイマーの設定



リズム／おやすみ風機能について

リズム風

風量に強弱をつけ、自然な風を再現します。

風量を切り替えることで風量パターンが変化します。

おやすみ風

風量に強弱をつけ、自然な風を再現します。

本体またはリモコンで風量を切り替えることで次のように風量パターンが変化します。

(強時) 強リズム風 → 中リズム風 → 弱リズム風 と時間とともに変化します。

(中時) 中リズム風 → 弱リズム風 と時間とともに変化します。

(弱時) 弱リズム風 と同じです。

(ソフト時) ソフトリズム風 と同じです。

正しい使いかた《ファン》(つづき)

風向きを変更する

1. 風向切替スイッチで風向きを変更する

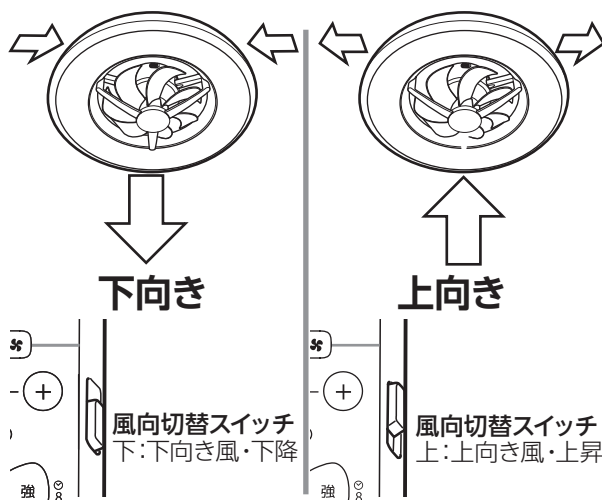
リモコンの横にある風向切換スイッチでファンの風向きを変更することができます。

- ・下:下向き風・下降 風を下向きにすることにより、体感温度を下げることができます。(冷房時に有効)
- ・上:上向き風・上昇 風を天井に当て、高いところにある暖かい空気を下に循環させることができます。(暖房時に有効)

※動作するまでしばらく時間がかかります。

風向きの変更は、風向切替スイッチを操作後、一度電源を切ってから、再度運転を開始する際に有効になります。

風向切替スイッチ操作だけでは、風向きは変わりません。



取りはずしのしかた



警告

取りはずしの際は、安全のため電源を切り、通電していないことを確認する。
感電・火災・やけどの原因になります。

取りはずしのしかた

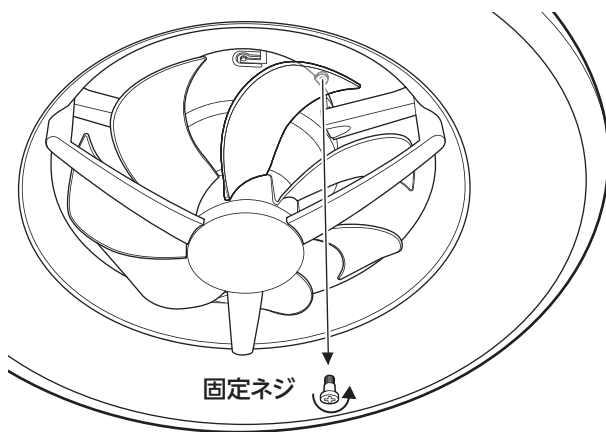


注意

お客様ご自身で取りはずしする場合は、重量物のため2人以上で作業することを推奨します。

お手入れするとき、別の部屋に移動させるとき、転居するときなど、次の手順で取りはずしをおこなってください。

1. 電源 (壁スイッチなど) を切にする
2. 本体を取付金具から取りはずす
取付金具の脇に出ている固定ネジをとりはずし、取り付けたときの逆順で取りはずしてください。
3. 引掛シーリングのリリースボタン (黒いボタン) を押しながら左 (反時計回り) に回し、配線器具から取りはずす
リリースボタン (黒いボタン) を押さないと、引掛シーリングは回転せず、取りはずすことができません。
4. フックからワイヤーを取りはずす
5. 天井から取付金具をははずす



お手入れのしかた



警告

お手入れの際は、安全のため電源を切り、通電していないことを確認する。
感電・火災・やけどの原因になります。

お願い

- 住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください。
- 本体に水をかけて洗わないでください（感電・故障の原因になります）。

お手入れのしかた

- 明るく安全に使用していただくため、定期的に（6か月に1回程度）清掃してください。
- 汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよくしぼってふき取ります。乾いたやわらかい布で水分をふき取り、十分乾いてから使用を開始してください。
- リモコンの送信部も定期的にお手入れを行ない、汚れをふき取ってください。汚れるとリモコンの効きが悪くなります。

本機はカバーやファンを取りはずすことができません。

修理・サービスを依頼する前に



警告

修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
LED部		
点灯しない	・電源（壁スイッチなど）が「切(OFF)」になっている	電源（壁スイッチなど）を「入 (ON)」にする
	・ブレーカーが「切」になっている	ブレーカーを「入」にする
	・引掛シーリングと配線器具が確実に接続されていない	引掛シーリングと配線器具を確実に接続する
点灯中・消灯直後など異音をする	・使用環境により電源部から多少の音が発生することがあります	問題ありません 気になる場合はドウシシャお客様相談室まで、ご相談ください
点灯中、LEDがチラつく	・使用環境により大電力を要する機器が同じ電源幹線に接続されていると、負荷変動で電源電圧が不安定になっている	問題ではありません。 電源の接続を変更など、工事業者に相談ください
	・強い電波を発生する機器を近くで使用している	強い電波を発生する機器を本機からの距離を離す
サーキュレーター部		
ファンがまわらない	・電源（壁スイッチなど）が「切(OFF)」になっている	電源（壁スイッチなど）を「入 (ON)」にする
	・ブレーカーが「切」になっている	ブレーカーを「入」にする
	・引掛シーリングと配線器具が確実に接続されていない	引掛シーリングと配線器具を確実に接続する
突然運転が止まる	・切り忘れ防止機能がはたらいっている	リモコンのⓂファン電源ボタンを押して運転を開始してください
	・タイマーボタンを押した	リモコンのⓂファン電源ボタンを押して運転を開始してください
異音をする	・天井へ正しく取り付けられていない	天井への取り付けを再度確認する
壁スイッチでファンが動作しない		壁スイッチの入切ではファンは動作しません
共通部		
リモコンが正常に動作しない	・リモコンの電池が正しく取り付けられていない	リモコンの電池を正しく入れなおす
	・リモコンの電池が切れて信号が送信されていない	リモコンの電池を新しいものにする
	・本体の受信部に信号が届いていない	障害物を取り除く、もしくは受信可能な範囲から操作する

よくあるご質問

Q	停電復帰後に勝手に点灯してしまいます。
A	正常動作です。(壁のスイッチは「入(ON)」状態で、リモコンで「切(OFF)」にしていた場合) 通常の停電復帰時は、スイッチやリモコンを探す必要が無いよう、照明が点灯した状態で復帰する設定になっています。点灯中に停電などで一定時間電源が切れた場合、直前の点灯状態で点灯します。
Q	停電復帰後、勝手に点灯しないようにできますか。
A	壁スイッチを「切(OFF)」にしてください。照明器具側では設定できません。
Q	LED部またはサーキュレーター部が故障しました
A	どちらかが故障した場合は、ご使用を中止して販売店またはドウシシャお客様相談室にご相談ください。

長年ご使用の場合はよく点検を

このような症状はありませんか？

- ・チカチカしたり点滅する。
- ・こげ臭い匂いがする。
- ・その他の異常・故障がある。



このような症状のときは、事故防止のため、すぐに電源を切り、必ず販売店またはドウシシャお客様相談室に点検をご相談ください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

※経年劣化により発火・けが等の事故の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行なっています。

	[製造年] (本体に西暦 4 桁で表示してあります)	
	[設計上の標準使用期間] (本体に表示してあります)	
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。		

(設計上の標準使用期間とは)

※下表の標準的な使用条件の下で使用した場合に、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

■標準使用条件(JIS C9921-1による)

環境条件	電圧	AC 100V	製品の取扱説明書による
	周波数	50Hz/60Hz	
	温度	30℃	
	湿度	65%	
	設置	標準設置	
負荷条件		定格負荷(風速)	製品の取扱説明書による
規定時間 など	運転時間	10h/日	
	運転回数	5回/日	
	運転日数	180日/年	
	スイッチ操作回数	900回/年	

●「経年劣化とは」

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。



アフターサービスについて

故障・修理についての
ご相談に関しては…

ドウシシャお客様相談室

ドウシシャ福井家電カスタマーセンター

☎0120-104-481

【受付時間】9:00~17:00 (祝日以外の月~金曜日)
〒915-0801 福井県越前市家久町41-1

- ※ 製品名、品番をご確認のうえ、お電話をいただきますようお願いいたします。
- ※ お電話をいただいたときにお話いただく情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。
- ※ メールでのお問い合わせ、仕様などのご確認は、ドウシシャ公式オンラインストア【ドウシシャマルシェ】の家電サイトをご参照ください。

製品に関する Q&A

お客様サポートセンター

<http://www.doshisha.co.jp/support/faq/lighting.html>



ドウシシャのパーツ購入は

ドウシシャマルシェ

DOSHISHA Marché
ONLINE STORE

公式オンラインストアで

<https://www.doshisha-marche.jp/>



こちらの
QRコードを
読み込んで
ください